

企業名： 帝人

レポート名： 統合報告書 2022

1. この会社が目指している将来の姿が理解できるか

よく理解できる。帝人グループが目指す姿は、「未来の社会を支える会社」だと明記されており、それがいかなる会社であるのか具体的に説明されている項目もあるためこのように評価する。

帝人は、具体的には、社会が必要とする新たな価値を創造し続け、その企業理念の中心に据えられる人間の Quality of Life の向上に務めることで未来の社会を支えるとしている。さらに詳細には、Quality of Life の向上のために、少子高齢化・健康志向ソリューションを提供していくとしている。少子高齢化・健康志向ソリューションとは健康で快適な生活を支える製品の革新的な発明と提供を目指すものである。

さらに気候変動の著しい地球環境への世界的取り組みに適応する製品の提供を約束する環境価値ソリューションと災害や事故から生命を守るための製品作りを考慮する安心・安全・防災ソリューションを、少子高齢化・健康志向ソリューションと同時に導入することで、人間の Quality of Life 向上に特化するだけでなく、環境と社会への負担を最小化できる企業の姿を実現しようとしていることもわかる。

2. この会社の現在の競争優位性が理解できるか

よく理解できる。帝人は、社会のニーズを先読みして新たに事業展開していく力を強みとして掲げている。この先読みの力とその都度新たな市場への新規参入を可能にする高度な技術力は、帝人の競争優位性として認識できる。さらに社会のニーズに適応し続けた結果、帝人は IT、ヘルスケア、マテリアル、繊維・製品など多義に渡る分野で事業展開するが、多分野を掛け合わせて、顧客と協創することで、イノベティブで高品質な高付加価値製品を開発し、競争優位性を確保している。確固たる技術力と顧客の要望に応える協創の力と信用も帝人の競争優位性としてあげられる。

3. その競争優位性に持続性があるかどうか理解できるか

技術の高度化により、今後はこれまで以上に急速に、社会のニーズが変化していく。2で確認したように、帝人の技術力はもとより申し分なく、この技術力は他者との協働という帝人の強みを活かしてさらに強化される。そのため変化の著しい次世代でも、帝人は持続して競争力を保持していけると想像可能である。

さらに長期ビジョンを実現するために、社会・地球への負担を最小化して人間の Quality of Life を高めるという将来像のもと、持続可能な開発目標に照らし合わせた事業展開が進

められている点でも、社会の実情とあった持続可能な立ち居振る舞いが可能であるということができそうだ。

4. この会社で自身の人的資本の価値向上を達成できると思うか

帝人において、自身の人的資本価値の向上は十分に達成できると思う。帝人は性や国籍、宗教や文化を他にする多様な人材を全面的に肯定し、多様な人材が心身の健康とワークライフバランスを維持できる柔軟な職場づくりに注力している。これを基盤に、中期経営計画の一環として女性や日本人以外の役員を一定数確保しつつグローバルなリーダーを育成するリーダーシップ開発プログラムを展開するなど、現代的で能力のある人的資本の創出をしていることが根拠である。

5. 報告書のよかった点はどこか、どのような改善余地があるか

帝人の高技術力が叶える革新的製品の開発や、持続可能な社会・地球の実現への貢献、多様性の容認など、昨今の価値観の変容に、技術的にも倫理的にも対応する姿勢がよくわかる統合報告書である点が良かった。

一方で、持続可能な未来への貢献を全面に押し出しているために、参画する分野などは明記されているものの、各分野でどのようにして数値的にどれほどの利益をあげることができるのかということが大々的には記述されていない。社会の実情に沿った企業であることをアピールするのは良いが、企業活動の持続には利潤の追求が必要不可欠であることもまた事実であるので、社会貢献という会社のきれいな側面だけではなくて、求める利益についてよりわかりやすく言及するべきだ。そうすることで、帝人の実態がよりわかりやすい統合報告書となり、かえって株主の信頼を得るのではないかと考える。